

英語科部会

研究主題 4 技能を総合的に活用し

積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成

1 主題について

学習指導要領では、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」などのコミュニケーション能力を総合的に育成することを目標としている。英語科では昨年度もこの主題で研究を進めてきた。さらに今年度も本主題を設定し、新学習指導要領の目指す生徒の姿や指導上留意すべき点などについて、共通理解を図りながら研究を深めてきた。

2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月11日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	10月29日	第2回総合研究会 授業研究会（東中学校）

3 研究内容

(1) 授業研究

- ・期 日 平成25年10月29日（火）
- ・会 場 東中学校
- ・単元名 2年 Unit 5 A New Language Service
- ・授業者 岡部 裕

① 授業者から

- ・接続詞を使って文作りをさせたいと思い、身近にあるテーマがよいかと思って考えた。
- ・事前に大館のよさについて理由をつけて発表をさせた。今日は逆に大館の問題点をあげその改善に向けた提案を書かせることにした。今日は ALT の Carry 先生に何らかの形で出してもらいたいと思った。また生徒からも大館の問題点を出してもらい、それらを使った。
- ・グループごとにテーマを決め、そのテーマに対して一人一人が考えを書く活動を当初は考えていたが、相談してまとまった文を作り上げているグループもあったので、それもよしとした。

② 協議

- ・意欲付けとして ALT の VTR や子どもたちの意見を使ってよかった。生徒の興味を引いて、その後生徒が意欲的に活動していた。グループでの活動では、意見交換などを生徒同士が行っていてよかった。
- ・作文の条件が明示されていたこと、ヒントカードが活用されていたこと、意図的指名が行われていたことなどの教師の手だてがよかった。
- ・活動形態として、グループで協力して文を考えさせるのか、グループで表現をチェックし合うのかが、あいまいになっていた。グループを上手に活用できたらよかったのではないかと。→改善策としては、①始めにグループで日本語で話し合い個人で英文を書き、グループ内で発表する。あるいは、②自分でテーマを選び個人で英文を書き、同じテーマの人が集まってどんな提案ができるか話し合う。などいくつか考えられる。
- ・発表するとき、双方向の活動になればよかったのではないかと。例えば相槌を打つとか。

友達の発表を聞いて理解できていたのだろうか。かかわり合いがある活動になって欲しい。
→改善策としては、導入から先生と生徒で問題点を明らかにしていくなど。

- ・学習課題にたどり着くまでの「つかみ」の部分が長かった。

→改善策としては、問題点を示す文を短くしてわかりやすく、生徒に確かめるような（生徒の声を拾うような）展開にした方がいいのでは。

(2) テーマ研究

各自テーマに基づく実践を持参し、紹介し合った。

(3) 指導助言（石井 むつみ 指導主事）

- ・生徒たちは素直で雰囲気よかった。また、英語をたくさん使って授業を進めていたのがよい。中学教師も英語をたくさん使うことが大事である。その際、シンプルにわかりやすく既習表現を盛り込むこと、生徒に伝わる英語であること、英語の話し方や声の大きさにも留意し、わかりやすい指示と発問を心がけること。そして何より、生徒の英語が教室に飛び交う授業を行って欲しい。
- ・大館という身近なテーマを扱ったのがとてもよかった。生徒の意欲付けになった。しかし「大館の今後をよりよくするための提案をしよう」は難しい課題ではないか。例えば「大館にあるといいなと思うものを理由をつけて言おう」など生徒が取り組みやすいものにしてみたらどうか。
- ・何のためにグループ活動をさせるのかを明確にしたい。多様な意見にふれさせて自分の意見を高めたりすることが大事。ほとんどのグループが同じ意見を書いていた、中には書けない生徒もいたので、生徒にテーマを選ぶ自由があったり、同じテーマで集まるなどの工夫があってもよかった。ねらいを生徒全員に達成させるためのグループ活動でありたい。
- ・評価の観点は何かを明確にすること。「書くこと」をねらっていたかと思うが「読むこと」に関する量や難易度が生徒の負担になっている。「読むこと」と「書くこと」の技能の統合を狙うならば、教科書の Reading for Communication を学習したあとの発展として、本時の内容に取り組んでもよかったのではないかな。



【提案づくりのグループ活動】

4 成果と課題

(1) 成果

- ・意欲付けとして ALT からの動画を見せたり、生徒から出た意見を使ったりして、とても興味を引いていた。大館という身近なテーマを扱っていてよかった。
- ・教師が英語をたくさん使って授業を進めていてよかった。

(2) 課題

- ・何のためにグループ活動をするのかをよく考えて活動形態を選ばなければならない。どのようなグループで活動するのも大切である。
- ・この時間で何の技能を育てたいのかを考え、扱う文の量や難易度を考えた方がよい。
- ・発表するときに、聞く側と話す側の双方向の活動になるとよいのではないかな。